



言葉はむずかしい

ことば

常盤新平
ときわしんぺい

川端康成の『雪国』の、アメリカ人の手になる英訳を読んだ女性が「とてもいい翻訳ですね」とほめた。会議通訳をつとめる彼女は、もちろん、学生のころにこの名作を読んでいる。外国人で日本の小説を一般の日本人以上に理解して英訳できる、優秀な翻訳者が出てきたのだ。

私は長いことアメリカの小説やノンフィクションを翻訳してきたが、日本語を英語に翻訳するのは、いまだに苦手である。しかし、日本の小説を読みながら、これを英訳したら、どんなものになるかと考えることがある。英訳しても、いい小説だろうか、英訳したらつまらないものになるだろうと自分で勝手に判断する。

時代小説は英訳ができるのだろうかと思っていたら、池波正太郎の『仕掛け人・藤枝梅安』の英訳が出た。さっそく読んでみると、英文にスピードがあって、読みやすく、しかも面白い。ちなみに、仕掛け人というのは、大金をもらって殺人を請負う殺し屋のことだ。

会議通訳の女性は、「日本の小説を英訳と読みくらべると、いろいろと勉強になる」と言った。日本語の微妙なニュアンスが英語によって、はっきり理解でき

ることもあるそうだ。「アメリカやイギリスの小説の場合、その翻訳に目を通してから、原書を読むこともあります」と彼女は言った。「ただし、日本語と英語で2度も読むのは、いい小説に限りますね。それが勉強になるのですから、ありがたいことだわ」

「ところで、日本語独特の表現があるでしょう」と私は言った。「たとえば、80の手習いだとか」

「そういうのはわりと簡単ですよ」と彼女は笑った。

「私は『学ぶのに遅すぎるといえることはない』と解釈して、英語になおします」そして彼女は“Never too late to learn”と流暢に言ってみせた。

彼女はあるとき、アメリカ人の通訳をつとめて、彼女の通訳を聞いた日本の企業の幹部は「そう実もフタもないことを言われてもなあ」とこぼしたそうだ。

「同じ断わるにしても、日本語にはいろんな言い方がありますからね」と彼女は言った。「英語のほうが単純なのかしら」

「そんなことはない」と私は自分の経験を話した。「英語にもいろんな表現があります。きっとそのアメリカ人は率直だったんでしょ」。私にとっては日本語も英語もむずかしい。ものを書いていると、それを身にしみて感じる。それが毎日のことだ。

(翻訳家、小説家)
ほんやくか しやうせつか

表紙エッセイ

言葉はむずかしい

常盤新平（翻訳家、小説家）

「みんなの教材サイト」の紹介	3
国際交流基金日本語国際センター制作事業課	
日本語・日本語教育を研究する 第19回	6
第二言語習得研究 学習者一人ひとりに注目する	
林 さと子（津田塾大学助教授）	
海外日本語教育レポート 第1回	8
北京日本学研究中心・在職修士課程日本語教師研修コースについて	
北京日本学研究中心 横山紀子	
新聞・雑誌から見る現代日本 第11回 中・上級 （本コーナーは著作権の関係でホームページへの掲載ができません。）.....	11
大人の仲間入りできたかな？	
写真で見る日本人の生活 初・中級	14
「花見 梅か桜か」	
授業のヒント 初・中級	16
ことば遊び	
本ばこ（新刊教材・図書紹介）.....	18
授業に役立つホームページ 第2回	21
難しいことばを調べながら読もう	
文法をやさしく 第2回	22
受身（2）	
ニュース・編集部から	24

は、読者が教えている生徒のレベルを示します。

読者から

センターの先生方、こんにちは！

いつも、『日本語教育通信』をいただき、心より感謝を申し上げます。私は遼寧師範大学で教えています。遼寧師範大学は大連にあります。大連の気候や雰囲気は日本によく似ています。青々とした山々やきれいな町を見るたびに、94年の夏、日本で過ごした忘れられない日々が思い出されます。センターでの勉強や日本での研修旅行は私の人生でとても美しい思い出になりました。優れた先生方の指導を受け、たくさんの日本人と触れ合って、日本人の仕事に対する勤勉な精神や厳しさに感動しました。また、信用を固く守ることに頭が下がりました。現在、私は一人の日本語教師として、学生に日本語を教えるだけでなく、

こういう人間としてのすばらしい所も学生に教えようと頑張っています。

さてこれからも、先生方からいろいろと教えていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。お暇があれば大連へいらっしゃってください。ご案内いたします。

包 淑蘭

大連師範大学外国語学院

表紙エッセイストプロフィール

常盤新平（ときわしんぺい）

出版社勤務を経て、翻訳・文筆活動に入る。主な著書に「アメリカの編集者たち」、訳書に「大統領の陰謀」、「ニューヨーク物語」、「汝の父を敬え」、「東四丁目」等、米国の政治・文化に関するものを主に多数。エッセイ、小説も手がけ87年に自伝的小説「遠いアメリカ」で第96回直木賞受賞。

「みんなの教材サイト」の紹介

http://www.jpff.go.jp/kyozai

国際交流基金日本語国際センター制作事業課

国際交流基金日本語国際センターでは、海外での日本語教材作成を支援するために2002年4月に「みんなの教材サイト」を開設しました。これまで本とPDFファイルなどで提供してきた初級日本語素材集『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』の文法説明、例文、れんしゅう、イラストなどを簡単に探すことができ、教材作成に利用できるようになりました。また、世界各地で日本語を教えている皆さんからのアイデアや、授業に役立つ情報を掲載していく予定です。

なお、利用する場合は、ユーザー登録が必要です。登録は、みなさんの国、所属機関、メールアドレスなどを入力していただくだけで、簡単に行えます。



『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』の内容をいろいろな探し方で探さがたさができます。

イラストを品詞・文型や五十音別にキーワードで探して、教材を作ることができます。

使いたい項目を「お気に入り」に登録できます。見たイラストは「つけたもの」として記録されます。

『教科書を作ろう』『イラスト』のよく利用されている項目の人気トップ10が見られます。他のユーザーからのアイデアや、日本語国際センター講師が行ったサイトに関するワークショップの情報も見られます。

日本語教育用素材が簡単に探せます！

にほんごきょういくようそざい かんたんさが



『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』に掲載されている文法説明、例文、練習、イラストなどを簡単に探すことができ、教材作成に利用できます。「明日の授業で使えそうなところは?」「来週のテストを作るときに使えそうなところは?」「こんなイラストがあったらいいな。」「人気のある素材は何だろう?」など、日本語教師のみなさんの様々なニーズにこたえます。

また、「実は本はもう持っているのだけど、使い方がよくわからない」という人は、教師用ナビ：授業準備編、教科書作成編を利用してください。

「すぐには使わないけれど、いつか使えそうだ」と思った素材が見つかったら、「お気に入り」に入れて後で使うこともできます。

「みんなの広場」で人気のある素材や、他の先生のアイデアが見られます！

ひろば にんき そざい ほかにせんせい み

みなさんのアイデアやコメントも送れます！

おく



みなさんは、様々な教育現場にあわせて、毎日工夫しながら、教材や教案を作成していると思います。でも、他の先生がどんな授業をしているか、お互いに知らないと思います。海外で1人で教えている先生も多いでしょう。たとえば「私と同じ国の高校で教えている他の先生はどんなプリントを作っているんだろう?」「ほかの国の中学や高校の日本語の授業はどんな授業だろう?」など“見たい”“聞きたい”“知りたい”ときは「みんなのアイデア」を見てください。

また、「みんなの教材サイト」を利用してみなさんが作成した教材を送ってください。「紙1枚の小さい教材だし...」なんて思わないでください。たった数行のアイデアでも、そのアイデアを待っている

人が世界のどこかにきついています。世界中の日本語教師のみなさんと共有してください。「私はこんな授業案を作りました。ぜひコメントをください!」という投稿も歓迎します。

『教科書を作ろう』(改訂版)を発行しました!

きょう かしょ つく かい ていばん ほん こう

国際交流基金日本語国際センターでは、中等教育向け初級日本語素材集として、1999年3月に『教科書を作ろう』(本誌34号で紹介、以下「正編」)、2001年5月に『続教科書を作ろう』(本誌41号で紹介、以下「続編」)を発行しましたが、この度、改訂版を発行しました。

改訂版では、正編及び続編の表記や練習手順などを見直したほか、「せつめい編」については正編と続編を合わせ、次のように、「せつめい編」(1冊)、「れんしゅう編」(2冊)、付属音声テープ(2本)としました。なお、音声テープの内容に変更はありません。

- | | |
|-----------|----------------------|
| 「せつめい編」 | 正編と続編の「せつめい編」を合わせたもの |
| 「れんしゅう編1」 | 正編の「れんしゅう編」にあたる |
| 「れんしゅう編2」 | 続編の「れんしゅう編」にあたる |
| 音声テープ1 | 正編の音声テープにあたる |
| 音声テープ2 | 続編の音声テープにあたる |



『教科書を作ろう(改訂版)』は海外の日本語教育関係者に対して優先的に配布しています(非売品のため、書店で買うことはできません)。原則として、これまで発行された『教科書を作ろう』『続教科書を作ろう』を持っている方を優先しますので、ご了承ください。また、配布は1機関につき1部としていますが、1つの機関内で利用される教師が多い場合などは、ご相談ください。なお、国内の機関からのご希望の場合は、送料実費にて受け付けています。

申込方法

ちうし こみ ほう ほう

ホームページから

日本語国際センタートップページ

にほん ごくさい

(<http://www.jpjf.go.jp/j/urawa/index.html>) から

「日本語の教え方・リソース」 「教科書を作ろう」で申し込み画面へアクセスしてください。

こ がめん

郵便、ファックス、E-mail

ゆうびん

下記の項目をお書きの上、お送りください。

か き ごうもく かが うえ おく

1. 希望の書籍名

例: 「せつめい編」「れんしゅう編1」「れんしゅう編2」

2. 利用目的(簡単に)

例: 授業準備の参考用として、教科書作成のため、図書館に配架するなど

かん はいか

3. 申請機関名(日本語、英語、原語の3通り)

例: 日本語/国際交流基金日本語国際センター

英語/ The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

原語/日英以外の場合、お書きください。

げん ぶん にちえい い がい ば あい かが

4. 申請機関住所

例: 5-6-36 Kita-Urawa, Saitama-Shi, Saitama 336-0002

JAPAN

5. 申請機関電話番号、FAX 番号、URL(ある場合)

例: TEL: +81-48-834-1183 FAX: +81-48-831-7846

れい

URL: <http://www.jpjf.go.jp/kyozai>

6. 申請機関代表者名及び役職

例: Hidetoshi KATO (Dr.) Director

れい

7. 事務担当者氏名及び役職、E-mail アドレス(ある場合)

例: Sakura Musashi (Ms.), Teaching Resources Division

れい

E-mail: Sakura.Musashi@jpjf.go.jp

印の箇所については、(郵送の際に利用しますので、アルファベットでお書きください。また氏名の場合は、敬称(Mr./Ms./Dr./Prof. など)についてもお書き添えください。

送付先

郵便

ファックス

E-mail

〒336-0002 埼玉県さいたま市北浦和 5-6-36

国際交流基金日本語国際センター

制作事業課『教科書を作ろう』申し込み係

FAX: +81-48-831-7846

E-mail: seisaku@jpjf.go.jp

日本語・日本語 教育を研究する

第19回

このコーナーでは、これから研究を目指す海外の日本語の先生方のために、日本語学・日本語教育の研究について情報をおとどけしています。今回のテーマは「第二言語習得研究 - 学習者一人ひとりに注目する - 」です。

第二言語習得研究

学習者一人ひとりに注目する

津田塾大学助教授 林さと子

1. はじめに

学習者が言語を習得していく過程はさまざまです。教師がどれほど良い教材を準備し、教え方に工夫を凝らしても、結果は必ずしも教師が期待した通りではありません。教師は、「なぜ？」と疑問をいだきつつも、さらに教材に工夫を凝らしたり、新しい教え方を求めるたりすることが多いのではないのでしょうか。それはそれでとても重要なことなのですが、今回は、学習者一人ひとりの言語習得が「なぜ異なるのか」ということを、第二言語習得研究の視点から考えてみたいと思います。

2. 第二言語習得研究：学習者への注目

第二言語習得研究は、大きく二つに分けて考えることができます。一つは、言語の習得過程そのものに焦点を当てた研究で、もう一つは、学習者および言語習得にかかわる諸要因に焦点を当てた研究です。また、言語習得の共通の側面と、個々の学習者によって異なる側面に、それぞれ焦点を当てた研究と考えることもできます。

第二言語習得研究というと、学習者言語、中間言語の研究など、習得過程に焦点を当てたものを意味することのほうが多かったのですが、最近では、学習者に焦点を当てた研究の重要性も指摘されています (Breen 2001)。ここでは、学習者に焦点を当てた研究を参考に、言語習得の学習者による違いを考えてみたいと思います。

この分野の研究は、従来、個人差 (individual differences) の研究として行われてきました。年齢、適性、動機、性格といった要因と言語習得の成功との関係を、統計的な手法を用いて、量的に行う研究が主でした。学習ストラテジー、スタイル、ピラーフの研究も学習者に注目した研究と考えられます。この種の研究では、学習者へのインタビュー、アンケート、日記など、学習者の自己申告や内省をデータとする方法が多く用いられています。また、近年、密な観察を行い、詳しく記述する手法、エスノグラフィーを用いた質的な研究も行われるようになってきています。

3. 第二言語習得にかかわる諸要因

第二言語習得の過程には、数多くの要因が、複雑にかかわっていると言われていています。(Ellis 1994、Brown 2000)。次ページ図1は、第二言語習得にかかわると考えられる要因を「社会文化的要因」「学習者要因」「学習環境要因」の3つの要因群に分けて、習得過程にかかわっていると思われる様子を示したものです。この図は、学習者の特性も、学習環境も社会的なコンテキスト・状況の中にあって、社会文化的な要因の影響を受け、なおかつ学習者特性と学習環境も相互に作用しながら習得過程に影響を及ぼしているのではないかと示しています (林他 1998)。

4. 学習者Mさんの場合

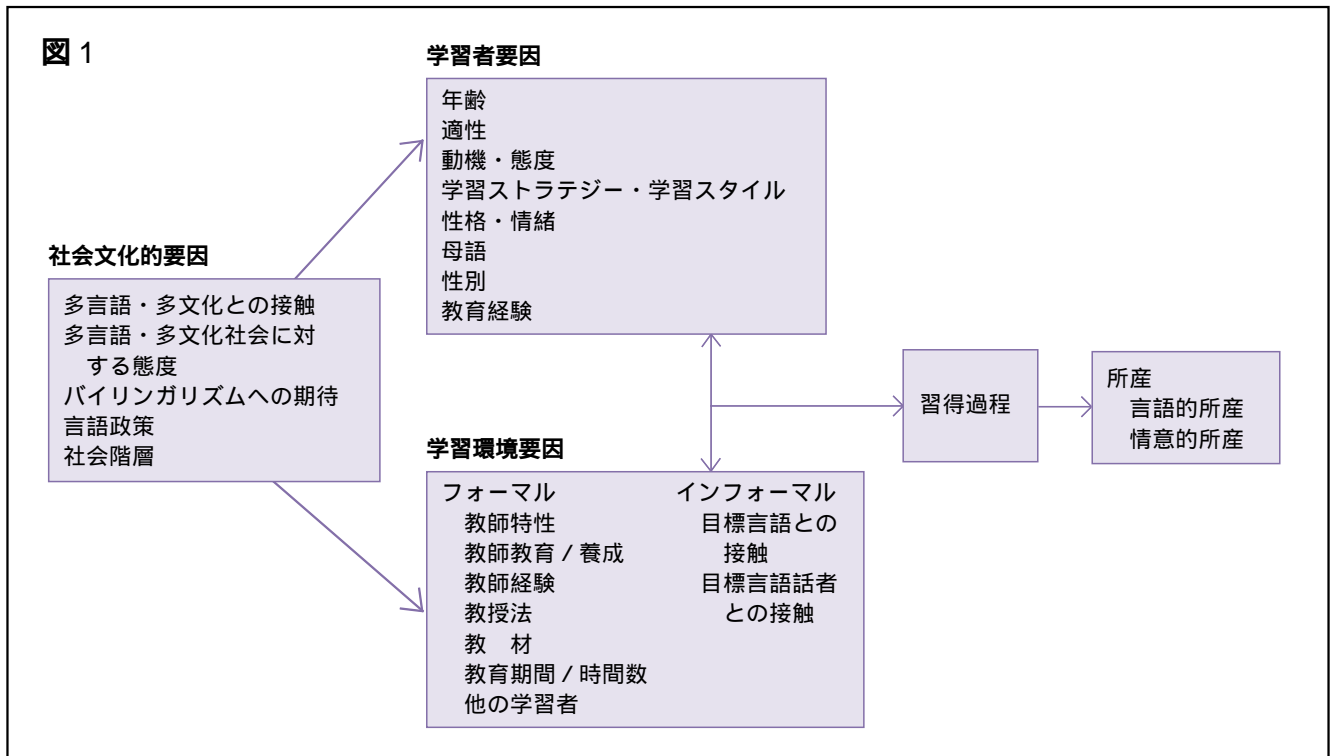
学習者一人ひとりの習得過程にかかわる諸要因とその相互作用を見ていくと、言語の習得は一人ひとり異なるとは当然ではないかとも思えてきます。日本語教育においても、学習者一人ひとりをできるだけ多方面からとらえる試みが紹介されています (池上、関、八田、八木 2000)。

事例

海外で日本語を学ぶ高校生のMさんは、テレビで見る日本のアニメやドラマに熱中し、流行のキャラクター商品などを愛用しているのですが、日本語の授業となると、それほど熱心な学習者というわけではありません。授業中は、ぼんやりとしていることが多く、参加度が低いMさんに教師はとまどっています。

この学習者Mさんは、日本の文化や社会への関心があるということで 統合的動機 はあるものの、高校生という年齢では、将来の進路や専門に向けて真剣に頑張ろうという 道具的動機 は持っていないと思われる。また、実際に日本へ行く機会があるかどうかもわか

図 1



らず、日常的に日本人との接触があるわけでもない 学習環境 で学んでいるわけです。学校の単位や入試は 外発的動機 ではあっても、日本への興味・関心から学習 自体がおもしろく、楽しいというような 内発的動機 とはなっていないようです。授業中の様子だけから見ると、Mさんは動機が弱い学習者に見えてしまうかもしれませんが、教室外で、自分で積極的に日本の情報を集めているMさんを肯定的にとらえると、対応の仕方が少し見えてくるのではないのでしょうか。海外の中等教育の学習者として、ひとくくりにとらえるのではなく、一人の学習者Mさんを多角的に見る必要がありそうです。

Mさんが興味を持つような素材を教材に取り入れるなどの工夫や、日本の若者文化について母語で話し合ってみるといった活動を試みると、教室での日本語学習が日本の文化や社会への関心と結びつき、学習への取り組み方も変わってくるのではないかと思います。学習者をよく観察することによって、また、学習者とのやりとりから、授業の工夫も生まれてくるのではないのでしょうか。

5. まとめ

異なる条件を持った学習者が、異なる環境下で学んでいます。

Every learner is unique.

Every teacher is unique.

Every learner-teacher interaction is unique.

(Brown 2000)

「学習者は一人ひとり異なり、教師もまた一人ひとり

異なります。そして、学習者と教師のやりとりもそれぞれ異なっている」のです。このことを念頭に、学習者と丁寧に向き合うことは、授業を見つめ直すよい機会となりそうです。そして、そこでの発見は、現場の教師にこそできる研究であるとも言えるでしょう。

参考文献

- Breen, M.P. 2001. Learner Contributions To Language Learning: New Directions in Research. Longman
- Brown, H.D. 2000. Principles of Language Learning and Teaching(4th ed.). Longman
- Ellis, R. 1994. The Study of Second Language Acquisition. Oxford Univ. Press
- Skehan, P. 1989. Individual Differences in Second-Language Learning. Edward Arnold
- 池上・関・八田・八木(2000)「授業のあとの講師室 - 日本語学習タテヨコナメ - (第5回)」『月刊日本語』連載(2000年4月~2001年3月)アルク
- 林さと子他(1998)『第二言語としての日本語学習および英語学習の個別性要因に関する基礎的研究』平成8~9年度科学研究費補助金研究報告書
- J A C E T S L A 研究会編著(2000)『S L A 研究と外国語教育 - 文献紹介 - 』リ - ベル出版
- K・ジョンソン・H・ジョンソン編/岡秀夫監訳(1999)『外国語教育学大辞典』大修館書店



海外日本語教育レポート

第1回

北京日本学研究中心 横山紀子



このコーナーでは、海外の日本語教育について広く情報を交換したり、お互いの交流をはかるために、各地域の新しい試みやコース運営などについて、関係者の方々具体的に紹介していただきます。

北京日本学研究中心・ 在職修士課程日本語教師研修コースについて

北京日本学研究中心（以下「センター」）では、2001年9月、中国の大学で教える日本語教師のための在職修士課程日本語教師研修コース（以下「在職コース」）を開設した。本稿では、この新しいコースの目的や内容を紹介するとともに、現在まだ1学期を終えたばかりの同コースの進捗状況を報告する。

北京日本学研究中心について：

センターは、1985年、中国における日本語教育、日本研究のための人材養成を目的として国際交流基金および中国教育部の協議により設立された。北京外国語大学内に設置されたセンターは、「言語」「文学」「文化」「社会」の4つの日本語研究コースを持つ「修士課程」「博士課程」をすでに運営しており、このたび新たに「日本語教育学」の在職コースを新設したのである。教授スタッフは、中国側専任教員10名（2002年2月現在）のほか、ほぼ同数の日本人教員が学期ごとに日本から派遣される。教育、研究および運営のすべてを中日共同作業で行う機関である。

コースの背景：

在職コースの前身に当たるのは、1980年に設立された「日本語研修センター」の教師研修コースである。故・大平正芳氏の首相時代に設置されたことから、通称「大平学校」と呼ばれる同コースは、1985年までに約600名の現職日本語教員の再教育を行った。「大平学校」の修了生は、現在中国各地の大学で日本語教育の中心的存在として活躍している。

1985年からは北京日本学研究中心において教師研修は続けられ、その修了生は総数約400名に上り、中国の日本語教育の質の向上に貢献してきた。しかし、この間、中国の大学が教員に求める資格や水準は徐々に高くなり、それに応える形で、これまでの研修コースを発展的に解消し、新たに在職コースを新設したのである。現職の大学教員のための在職コースは、中国教育部が制定した制度に基づいており、他の専門分野でも広く行われているが、日本語教育学の在職コースを設置するのはセンターが初めてである。

コースの特徴：

コースの特徴を3点あげたい。

在職コースの修士論文は、日本語教育学、日本語学、日本概況（日本事情を中心とした日本研究）の3分野からテーマを選ぶことができるが、日本語学あるいは日本概況の分野をテーマとする場合には、日本語教育への応用という観点からの分析や考察が求められる。中国の大学の日本語教師は、一般に日本語運用力が高く、研究者としても優秀な人材が多いことがよく知られている。ただ、その研究者としての専門分野は、これまで日本語学や文学などの日本研究に集中しており、言語教育の方法論や学習過程の研究には関心が薄かったと思われる。しかし、近年、大学生人口の増加や学習目的の多様化といった現象を受け、新しい教材や教育方法に対するニーズが高まってきている。そのような中で、日本語教育学を中心に据え、「教育」や「学習」への視点を不可欠としたことがコースの第一の特徴である。

もう一つの特徴は、このコースが中日共同運営であることから、中国の「内から」と「外から」双方の視点を持って構成されていることである。中国における日本語教育の経緯や現状をよく知った中国人教員と、日本や他国の日本語教育学の成果を紹介する役割を担った日本人教員とが密接に協力することで、中国の現状に合った日本語教育学を確立することを目指している。

さらにもう一つの特徴は、一部の科目をセンターに並行設置されている日本研究「修士課程」との共通開講とし、日本研究の教授スタッフからも専門的な指導が受けられることである。中国の大学で日本語を専攻した学生の中には大学院に進んで日本研究を専門にしている者も多く、そのような将来的可能性を持つ学生を指導するに当たっては、教師自身も日本研究の基礎を学んでおくことが必要だと考えられるからである。

コースの概要:

がいよう

コースの進行過程は次の通りである。1年目はセンターで集中的にコースワークを行い、2年目以降は各自の所属大学に戻って職務を行いながら2年間で修士論文を執筆する。なお、応募資格としては、3年以上の教育経験があること、45歳以下であることが条件とされている。1学年の定員は最大10名である。

- 1年目
 - 9月～1月初旬(18週間) : 北京日本学研究中心で講義受講(第1学期)
 - 3月～7月初旬(18週間) : 同上(第2学期)
 - 7月初旬～8月初旬(約4週間): 訪日研修(資料収集、研究計画について専門家との面談など)
- 2年目
 - 9月～ : 所属大学に戻り就業。同時に論文執筆開始
 - 1月(予定) : 第1回修士論文中間報告会および集中指導
- 3年目
 - 8月(予定) : 第2回修士論文中間報告会および集中指導
 - 2月 : 修士論文提出
 - 5月 : 修士論文審査

カリキュラム:

カリキュラムは、日本語教育学、日本語学、日本概況の3分野を基軸としており、具体的な講義科目は下の表の通りである。必要履修単位は38単位である。

在職修士日本語教師研修コース・講義科目表

	科目名	1学期	2学期	単位数
公共必修	マルクス主義理論			8
	英語			
専門必修科目	日本語教育学概論			12
	言語学・日本語学概論			
	日本語表現			
	日本概況			
	日本学総合講座			
専門選択必修科目	日本文学基礎研究Ⅰ、Ⅱ	(2/6科目)		4
	日本社会基礎研究Ⅰ、Ⅱ			
	日本文化基礎研究Ⅰ、Ⅱ			
	教育学演習	(1/5科目)		
	教育学演習			
	中日対照言語学演習			
	日本語学演習			
	日本概況教育論演習			
	日本語教育学文献講読Ⅰ	(3/5科目)		
	日本語教育学文献講読Ⅱ			
中日対照言語学文献講読				
日本語学文献講読				
日本概況教育学文献講読				
選択科目	教育学実習			6
	文学理論			
	社会研究原論			
	文化研究理論			
	日中文学文化比較研究			
	日本語表現Ⅱ			
	古典文法			
	コンピューター・リテラシー			
最低必要履修単位			38	

必修 選択必修 選択

カリキュラムの中心的科目について説明を加えながら、専門分野の知識と技能を養成していく過程を概観したい。

1学期は、「日本語教育学概論」および「言語学・日本語学概論」という2つの概論科目によって専門分野の基礎を学ぶ時期として位置づけられている。「日本語表現」は、研究者として学術発表や論文執筆のために必要となる高度な日本語力の養成を目指すものである。また「日本概況」「日文学総合講座」が必修科目として、「文学」「社会」「文化」の各基礎研究科目が選択必修科目として提供され、日本語教育の背景にある日本社会・日本文化に関する幅広い知見を養成することを目指している。

2学期の各科目は、修論のための研究計画を中心的な課題として設定されている。学生は2学期開始までに各自の修論執筆の分野を決め、それに応じて「日本語教育学」「日本語学・日中対照言語学」あるいは「日本概況教育学」の演習と文献講読を履修する。



初年度の進捗状況：

しよねん ど しんちよくしよきよう

今年度は中国各地の大学から8名の学生が入学し、現在1学期を終えたところである。1学期の専門科目について簡単に紹介する。「日本語教育学概論」では、『日本語教育における学習の分析とデザイン』（岡崎眸・岡崎敏雄著・2001年・凡人社）をテキストとし、第二言語習得研究の観点からどのような学習方法がどのような習得に効果があると考えられているのか、これまでの研究を概観した。「言語学・日本語学概論」では、『新しい日本語学入門』（庵功雄著・2001年・スリーエーネットワーク）などをテキストとし、最新の言語学理論に基づいて日本語の仕組みを対照的に考える視点の養成を目指した。また、「日本語教育学実習」では、概論で学んだ理論を実践に適用する方法を考え、その一環として北京外国語大学に場を借りて教壇実習を行った。

専門の下地がほとんどない学生にとって、上記のような内容はすべてゼロからの学習であり、負担が大きかったと思うが、週末も休むことなく勉強に励む動機には、むしろ教授スタッフの方が背中を押される思いである。しかし、学生たちが2年目からは所属校に戻って独力で研究を進めていかなければならない事情を考えると、残された指導期間は短い。本コースの最大の課題は、1年間という短い期間に一気に集中して自立的な研究能力を養成するかということである。また、2年目以降、センターから離れたところで論文を執筆する学生たちにどのような支援をしていくのかについても、試行錯誤を重ねていく必要がある。

最後に、初年度の担当教員としてこのコースに期待することを述べて、本稿を終わりたい。

他の国・地域においてもそうであるように、中国がこれまで行ってきた日本語教育は中国固有の環境や条件によって強く特徴づけられている。中国の風土の中で培われてきた日本語教育に単に「最新」と思われる言語教育を接木するのはなく、しかしながら、中国の中だけで受け入れられる理論や方法論に終始するのではなく、他の国々とも共有できる普遍的な視点で中国の日本語教育を分析することによって改善への方向性を探ることが大事であると考えている。

中国社会はいま大きな経済発展をしつつ驚くほどの速さで変化している。大学での日本語教育に求められるものもまた時々刻々と変っている。これからの日本語教育を担う若手教師である在職コースの学生たちが、時代の波にのまれることなく、冷静かつ柔軟な対応ができる人材に成長していくことを願っている。



写真で見る
日本人の生活

花見 梅か桜か
はな み うめ さくら

このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している、日本語教育用「写真パネルバンク」を使って、初中等教育機関で日本語を教える先生方が、どのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は、初級の学習者でも読めるようにやさしいものを使っています。今回は、「花見」に関する写真パネルを集めてみました。

日本の春の花 - 梅と桜 -
にほん はる はな うめ さくら

日本人はむかしから花見が好きでした。「花見」といえば桜の花を見ることですが、梅の花見（梅見 観梅）もさかんです。

梅
うめ



梅には白梅と紅梅（赤い梅）があります。梅の実から梅ぼしを作ります。

©PB Y



日本各地に梅園があります。ここは東京の神代植物公園です。梅の花は、ここでは、2月上旬から3月下旬が見ごろです。

©HAGA LIBRARY

桜と花見

さくら はな み



©GPL

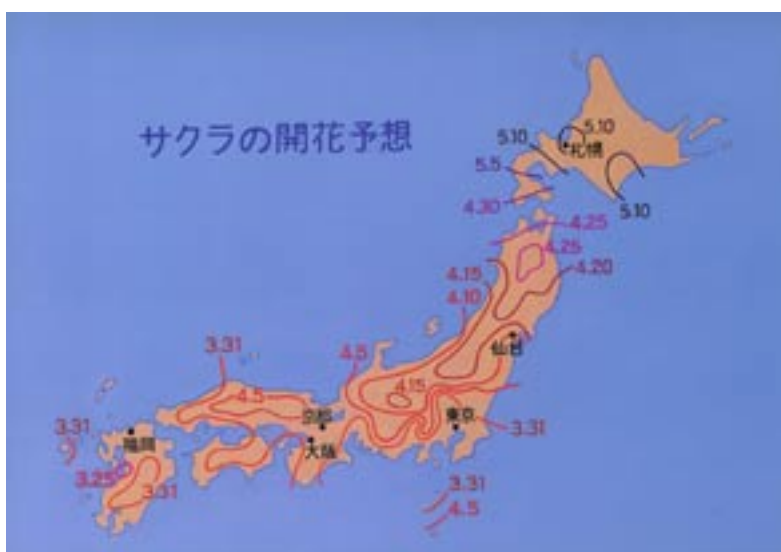
桜は日本の代表的な花です。(日本の「国花」でもあります。) 色々な品種がありますが、ソメイシノ(写真)が有名です。梅の花のあと、3月から5月にかけて咲きます。



©HAGA LIBRARY

花見のようすです。
日本人はむかしから、桜の木の下で、花を見ながら、食べたり飲んだりします。

夜は特に大ぜいの人が集まります。



桜は人気があるので、みんないつ咲くのか、が気になります。

日本は南北に長いので、地方によって咲く日が違います。

気象庁では、毎年、桜の季節になると、「開花予想」をします。

日本の春を代表する梅と桜。あなたはどちらが好きですか。

☆ 授業のヒント

今回は、日本語のことは遊びをいくつか紹介
こんかい にほんご あそ しょう
 します。
かい

テーマ ことば遊び

目的 <small>もくてき</small>
<ul style="list-style-type: none"> 日本語のことに興味を持つ。 <small>にほんご きょうみ も</small> 楽しみながらことはを覚える。 <small>たの おぼ</small>
学習者のタイプ <small>がくしゅうしゃ</small>
<ul style="list-style-type: none"> 初級後半、中級、上級 <small>しよきゅうこうはん ちゅうきゅう じょうきゅう</small>
クラスの人数 <small>にんずう</small>
<ul style="list-style-type: none"> 何人でも <small>なんにん</small>
準備するもの <small>じゅんび</small>
<ul style="list-style-type: none"> 特になし <small>とく</small>

ことば遊びとは

どのような言語でも、冗談やなぞなぞ、早口ことばなどの、ことば遊びがあります。今回は日本語のクラスで使えることば遊びとして、しりとり、なぞなぞ、あいうえお作文、聞きまちがいを紹介します。ことば遊びは、授業の時間が余ったときや、日本語の行事、たとえば発表会や他の学校との交流会のときに、使うことができます。

しりとり(初級からできます)

しりとりは、一人が一つのことばを言って、次の人がそのことばの最後の音で始まることばを続けていく遊びです。たとえば最初のことばが「あき」だったら、次の人は「きもの」などと言います。その次の人は、「ノート」「のり」などのように続けます。

例：あき(秋) きもの(着物) ノート
 とけい(時計) いす スポーツ
 つくえ えき(駅) きって(切手)
 テレビ ビデオ おなか かいしゃ(会社)
 シャツ.....

ただし、最後に「ん」のつくことば(「ほん」「みかん」など)を言ったり、前にだれかが言ったことばをもう一度言っただけではいけません。それから、できるだけ名詞でしりとりをしたほうがいろいろな音で終わるのでいいと思います。特に、形容詞は「い」で終わるものが多いので、形容詞を入れると何回も「い」で始まることばを考えなければならなくなります。でも、どうしても他のことば

が思いつかなかったら、動詞や形容詞などを使ってもいいでしょう。また母語のことばを入れてもいいと思います。それぞれの教室に合ったルールを作ってください。

初級のクラスでしりとりをするときは、学習者がどうしてもことばを思いつかないとき教科書の語彙リストを見てもいいことにするといいでしょう。また、「ぬ」「め」「ら」「る」などで始まることばは少ないので、このような場合は、教師が助けてあげたりするといいでしょう。

なぞなぞ

日本語では、あることばと他のことばが意味は違うけれど同じ音だったり、似ている発音だったりしたときにそれを使って冗談を言うことがあります。これを洒落と言います。
 たとえば

あひるが言った。「あ、昼だ」

池があって行けません

かえるがうちに帰る

京都えきの前を、きょうとおった(通った)

九日はこのカレーを食べよう。

知っている日本語のことばを使って、このような洒落を作り日本人に話したら、きっと日本人はびっくりするでしょう。でも、このような洒落をたくさん使すぎると、「おやじギャグ」ⁱⁱと言われて、いやがられますから注意しましょう。

このようなことばや文の中に同じ音の部分があることを利用して作られたなぞなぞもたくさんあります。上にあげた例で次のようななぞなぞができます。

すぐうちに帰る動物は何ですか？

答え.....かえる

解説:「かえる」と「帰る」は、アクセントは違いますが、音は同じです。

では、次の例はどうでしょう。すぐに答えを見ないで考えてください。

1) わたしは日本人。やさいは何人？

答え.....にんじん

解説: その人の国や民族をあらわすときに「~人」という言い方をします。それと野菜の「にんじん」の「じん」の音を結びつけています。

2) 世界の中でこの人の歯がじょうぶですか？

答え.....ハワイの人
解説:「ハワイ」と「歯はいい」の音が似ています。

3) 世界の真ん中にある虫は何でしょう。

答え.....か(蚊)
解説:「せかい」の真ん中には「か」という音があります。
「蚊」は虫の名前です。

次の二つのなぞなぞの答えは何ですか。

4) 愛の次には何がありますか。

5) 愛のとりにある果物は何ですか。

わかりましたか。そうです、「あいうえお...」の五十音を思い出してください。4)の答えは「あい」の次ですから、「うえお」、5)の場合は、まず「あいうえお」となりは何でしょう。そうです、「かきくけこ」です。そして「あい」となりは「かき」で、答えは果物の柿になります。

教室では、一人の学習者になぞなぞを読ませて、みんなでも考えてもいいでしょう。初級の後半や中級になって、学習者がたくさんのことばを覚えたら、学習者自身になぞなぞを作らせてもいいでしょう。もしかしたらびっくりするような名作ができるかもしれません。

「あいうえお」作文

この遊びは、「あいうえお」など、初めのことばを決めて、それぞれの音を使って意味の通る文を作るゲームです。英語では、この遊びをアクロスティック(acrostic)といいます。

あさおきて 朝起きて
いろいろ いろいろ
うたったり 歌ったり
えをかいたり 絵をかいたり
おどったりします。 踊ったりします

初めの音はいろいろなことばを使うことができます。そして、できればそのことばが表す内容を説明する文ができたらいいでしょう。たとえば自分たちの学校の名前や町、国の名前などを使って作文してもおもしろいでしょう。日本語国際センターのある埼玉県だったら、

さくら草という花がたくさん
さくら草という花がたくさん
んさきます。

いもで有名です。

たかい山がありません。

ま(待)ち遠しいです。サッカー
ワールドカップ2002!



解説: さくら草は埼玉の花。さつまいもがたくさん

とれて、さつまいもでできたお菓子も有名です。富士山のように高い山はありませんが、秩父という町は山の中にあり、お祭りが有名です。そして、今年2002年には「さいたまスタジアム2002」で、サッカー・ワールドカップの試合が行われます。

聞きまちがい

発音が似たことばを使って、聞きまちがえやすくてもしるい意味になる文を作って遊ぶこともできます。教室では、教師か学習者の一人がその文を声に出して読んで、他の学習者はそれを聞いて「正しい」文が何か当てます。たとえば、次の例はどうでしょう。正解がわかりますか？

- 1) 教授、ウニ食べましょう
- 2) 僕が臭かったのです
- 3) 掃除機に言いなさい
- 4) パンツ食った

正解の文
1) 今日中に、食べましょう
2) 僕が草、刈ったのです
3) 正直に言いなさい
4) パン、作った

以上のように、日本語でもいろいろなことば遊びがあります。学習者によって好きな遊び、できる遊びが違ふと思ひますので、いろいろ試してみてください。おもしろいものができたら、このコーナーでご紹介するのでぜひ送ってください。

i 「ぬ」のつくことば 布、ぬいぐるみ、沼...
「め」のつくことば めがね、目覚まし時計、メモ...
「ら」のつくことば ラケット、ラジオ、来週...
「る」のつくことば 留守、留守番電話...
ii おやしギャグ
日本人の中年の男性が同じ音を使った洒落をよく言うために、このようなことばができたようです。
iii 「食った」は「食べる」と同じ意味ですが、少々乱暴な言い方です。男の人が、友達と話すときなどに使ひます。

参考文獻

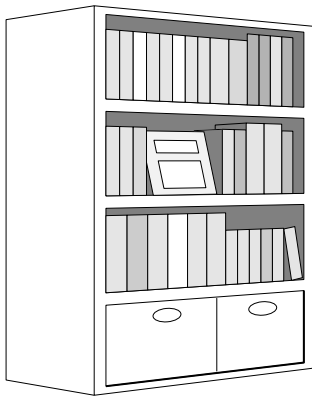
奥村訓代(2000)『異文化共有論』凡人社
参考にしたサイト

ちよつとむずかしい例や、教室では不適切な例もありますが、なぞなぞや「あいうえお」作文、聞きまちがいの問題を作るときに参考になります。

- 1. しろくま君のホームページ
http://www.sutv.zaq.ne.jp/shirokuma/index.html
- 2. 駄洒落データベース
http://www.ipc-tokai.or.jp/y-kamiya/Dajare/

このコーナーの担当者: 有馬淳一、古川嘉子(日本語国際センター専任講師)

読者の皆さんからのアイディア、成功例、失敗談などぜひお寄せください。



本ばこ

- 新刊教材・図書紹介 -

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

データ凡例 ①著者 ②出版社 ③刊行年月 ④ISBN ⑤判型・ページ数 ⑥定価 ⑦その他

調査発表のための日本語運用力が身につく

『トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ』



データ

①専修大学国際交流センター監修②スリーエーネットワーク(〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3(松栄ビル) / TEL. 03-3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL www.3anet.co.jp

中級前期

①佐々木薫、田口典子、安藤節子、赤木浩文、草野宗子編著③2001年8月24日④4-ひろみ すずき たかえ へんちよ ねん がつ か 88319-194-X⑤B5判・106ページ⑥1,575円

中級後期

①安藤節子、田口典子、佐々木薫、赤木浩文、鈴木孝恵編著③2001年8月24日④4-ひろみ すずき たかえ へんちよ ねん がつ か 88319-195-8⑤B5判・118ページ⑥1,575円

上級

①安藤節子、田口典子、佐々木薫、赤木浩文、坂本まり子編著③2001年12月3日④4-ひろみ すずき たかえ へんちよ ねん がつ みつ か 88319-213-X⑤B5判・116ページ⑥1,575円

上級用資料集

①佐々木薫、田口典子、赤木浩文、安藤節子編③2001年12月5日④4-88319-214-8⑤B5判・172ページ⑥2,100円

中級前期からはじめる内容中心

・産出型の授業

このシリーズは、中級前期、中級後期、上級の3レベル、3冊の教材と、『上級用資料集』からなります。学習者が「自分でテーマを探して調査、考察、発表する」ことを目標としています。あるトピックについて情報収集、伝達、調査分析、発表するためには、文章を理解し産出する力が必要です。この教材ではトピックの抽象度や課の構成などを工夫して、初級終了段階からこれらの活動ができるようになっています。また、トピックには国を越えて共有できる話題、いろいろな面から考えられるものが選ばれています。中級前期のトピックは「旅行」「いつ、どこで買う?」「祭り」「贈り物」「マスメディア」です。後期では、「教育」「ことば」「コミュニケーション」「昔話」「住宅」で、上級になると「食生活」「仕事」「生活習慣と宗教」「リサイクル」「ジェンダー」が取り上げられています。

活動の流れと各課の構成

3つのレベルとも各課の構成は次のような活動の流れに沿っています。

はじめに、グラフ情報の読み取り、読み物、アンケート調査や作文、または、文献調査、口頭発表、または、文集・冊子作り。

ただし、上級では上の と の間に『資料集』を使った「情報交換」という活動が入ります。このように、段階を追って四技能を使った活動が続きます。までは一斉授業ですが、その後は学習者一人一人の目的や興味に合った個別のテーマで授業が進められるようになっていきます。各課の終わりに口頭や書面による発表があるので、学習者には目標が明確で、学習の達成感が得られます。

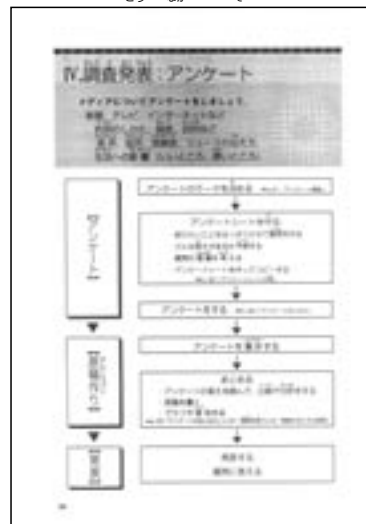
どんなトピックにも役に立つ

「調査・発表のための手引き」

各冊のはじめに教師のための参考として、授業の進め方のていねいな例がありますが、それによると、各課は20～30時間かかります。もち

ろん、使い方は学習者の日本語力、興味、授業の目的に合わせてかえることができます。

また、教師が新しいトピックを選び、教材を作ることでもできます。そのときに、各巻末にある「調査・発表の手引き」はたいへん役に立つでしょう。この手引きには、レベルに応じたグラフの読み方、調査をするための補助教材、発表のときの表現や評価表などがあ



文章の構造をとらえて読む・書く

ぶんしやう こうぞう よ か
『大学・大学院留学生の日本語』 読解編 作文編
だい がく だい がく いん りゆう がく せい に ほん ご どっ かい へん さく ぶん へん



データ

読解編

1 アカデミック・ジャパンーズ研究会 編
著 2 アルク (〒168-8611 東京都杉並区永
福2-54-12 / TEL. 03-3327-1101 FAX. 03-
3323-2021) URL www.alc.co.jp 3 2001
年10月10日 4 4-7574-0376-3 5 B5判122ペ
ージ 6 1,680円 7 別冊解答と解説付き

作文編

1、2 読解編と同じ 3 2001年11月10日
4 4-7574-0500-6 5 B5判98ページ 6 1,470
円 7 別冊解答と解説付き

母語で文章を読む時、全部読まないで少し飛ばしても、大切な部分はちゃんと理解できると感じたことはありませんか。

私たちは、母語では<文章の構造>がある程度わかっています。ですから、これまでの経験からどこをどのように読んだらいいのか、<読み方>についてもわかっています。

ところが外国語では、読みの経験も浅いですし、文章構造も予測できません。これが外国語

での読解の難しさだと言えます。本書は大学・大学院で日本語を勉強する留学生を対象に、日本語の<文章構造の知識>を理解し、日本語の<読み方>について学ぶことを目的に書かれたものです。

各課の最初で、題名や図、絵を見て内容を予測します。そして本文を読みながら、段落読み、情報検索読みなどを行います。ここまででは<読み方>の練習です。

次に<文章構造>の理解です。本書では、一語一語を読むのではなく、各段落の中心文となる文の理解から、文章全体の流れをつかむ方法を学びます。また、定義、経過、比較・対照、理由・根拠などの内容を伝えるために必要な文章構造に伴う表現や展開パターンを学びます。



P. 37

その他、読むために必要な文法として、正確な読み方に欠かせない、「である体」「名詞句」「こ

と」なども紹介されています。留学生向けですが、各課のトピックは「日時計」「茶の湯はどのようにして伝わったか」など、一般的な中級の学習者にも十分、興味深く読めるものになっています。語句リストには、英語・中国語・韓国語訳がついています。なお、同じシリーズに作文編があり、こちらは<文章構造>の展開パターンの実践を通じて、文章表現能力を高めることをねらいとしています。

「共通漢字」を学んで着実に上級レベルへ

『INTERMEDIATE KANJI BOOK VOL.2 漢字 1000 PLUS』

データ

1 加納千恵子、清水百合、竹中弘子、石井恵理子、阿久津智、平形裕紀子 2 凡人社 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1F / TEL. 03-3263-3959 FAX. 03-3470-2129 URL www.bonjinsha.com/index-j.html E-mail info@bonjinsha.com 3 2001年8月31日 4 4-89358-489-8 5 B5判 388ページ 6 3,465円

本書は『BASIC KANJI BOOK基本漢字500』に始まる漢字教材シリーズの最終編で、中・上級者のための漢字学習書です。学習漢字が358字、コラムで紹介している69字を合わせると、合計427字になります。

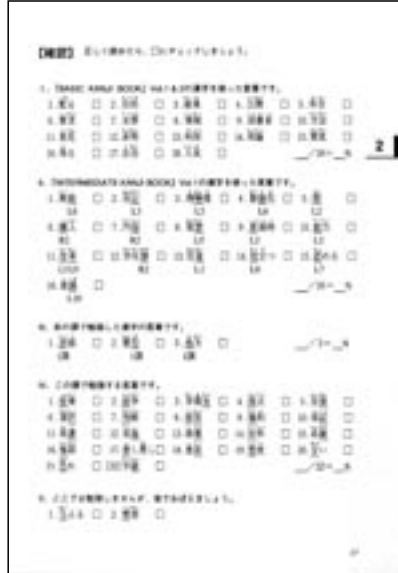
さて、日本語学習も中級段階に進むと、書き言葉に特有な漢字語彙の学習が必要となります。異なる専門分野にある程度共通して使われる漢字を本書では「読解のための共通漢字」と呼んでいます。そして学習者が自分の専門分野や興味の対象に応じて漢字語彙力を伸ばしていけるよう、各課ごとの「要点」でまとめられています。

そこで本書の内容ですが、以下のようになっています。目次には各課の学習項目と学習漢字、そして巻末には各課の練習と課題の解答、課ごとの学習漢字索引、音訓索引などがあります。各課は、心理・教育、科学・技術、地球科学、経済・金融をはじめとした9つの専門分野と、それに関連するコラムがあり、「力だめし」「要点」「練習」「課題」からなっています。

本書の特色は、「力だめし」に出てきた漢字語彙についてそれぞれ『BASIC KANJI BOOK VOL.1&2』、『INTERMEDIATE KANJI BOOK VOL.1』、あるいはそれまでの課のどこで勉強したか確認できることです。そのため、教師も学習者もどのテキストの何課へ戻ればよいか一目でわかります。また、巻末にその課で学ぶ学習漢字についても1級、2級の区別がなされ、さらにはその例文もあって、練習問題を解くヒントになります。

使い方としては興味のある分野の課だけを選んで使うこともできますが、本書の構成を考えると1課から順に学習を進めていくやり方が効果的でしょう。というのは、各課にある「確認

のところでこれまで学んだ漢字語彙を確認しながら進められるので、漢字語彙力が一課ごとにについていく様子を目分で見ながら進められるからです。



P. 17

中上級レベルの文法で困った時にじっくり読みたい

『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』

データ

■白川博之監修、庵功雄、高梨信乃、中西久美子、山田敏弘■スリーエーネットワーク(〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3(松栄ビル)TEL.03-3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL www.3anet.co.jp)■2001年10月10日■4-88319-201-6■A5判600ページ■6,252.00円

本参考書は、本誌39号で紹介した『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』(以下

下『初級編』)の続編です。取り上げられている文法項目は、指示詞・複合格助詞・テンスとアスペクト、授受動詞、モダリティ、「は」と「が」、名詞修飾、条件などで、日本語能力試験2級レベル以上の文法項目の中から43の項目が選ばれています。また、タイトルは『日本語文法』になっていますが、後半部分には語構成、イントネーションによる意味の違いの、運用論なども含まれており、文法といってもかなり幅広い範囲がカバーされています。さらにいくつかのセクションごとにコラムも設けられており、外国

語と日本語の対照研究やミニ文法知識なども紹介されています。

各セクションの構成は『初級編』と同じで、「これだけは『もう少し』『もう一歩進んでみると』の3つに分かれています。

言葉の通り、「これだけは」には説明の際に最低限知っていなければならない解説が、「もう少し」には初級レベルの文法よりもやや踏み込んだ解説が、「もう一歩進んでみると」には



その文法項目と他の文法項目との関連や別の視点から見た解説が記載されています。学生に説明する際には、それぞれの理解や興味の程度によってどこまで解説するか決めればよいでしょう。

本参考書は、学生からの質問に答えるための情報源としてだけでなく、教師自身が抱いた疑問点を解決するための情報源としても役に立つと思われます。それには最初から読むというよりも、いつも手元に置いておき、疑問が生じた時に開いてじっくり読むことをお勧めします。巻末には事項別索引と形式索引がつけられています。



P. 314



P. 315



P. 495

テレビドラマの恋人たちの会話をのぞいてみると...

『恋するふたりの「感情ことば」』

データ

■泉子・K・メイナード■くろしお出版(〒112-0002 東京都文京区小石川3-16-5 / TEL.03-5684-3389 FAX.03-5684-4762 URL.member.nifty.ne.jp/kurosio/)■2001年11月1日■4-87424-236-7■A5判320ページ■6,168.00円

私達は、自分の気持ちを表す時、無意識に、時には意識的に、言葉を選びながら会話をしています。ですから、母語以外の言語で、自分の気持ちを表そうとすると、「こんな時、何言ったらいいんだろう」と、困ってしまうことが多くあります。日本語を長く勉強している学習者の中にも同じような悩みを持つ人がいるのではないのでしょうか。この本は、そんな学習者の悩みを解決するきっかけになりそうです。

この本は、談話・会話分析の研究者である著者が、日本のテレビドラマの恋人たちの会話について、言語学にあまり詳しくない読者にもわか

りやすく分析・解説した一般書です。分析の対象としたのは、『ロングバケーション』(1996)『魔女の条件』1999『ビューティフルライフ』(2000)など合わせて五つのドラマです。その中でも特に著者は、セリフの自然さが視聴者からも高く評価されたという事実に基づいて、『ビューティフルライフ』を「日常の言葉に近いもの」と認めて、大きく取り上げています。

全体は8章で構成され、3章から6章で、ドラマに出てくる感情表現を「しがらみことば」「親しさことば」「恋ことば」「けんかことば」の4つに分けて観察しています。最後の8章では、右の会話で始まる『ビューティフルライフ』の10話を例として、短い発話の中でも複数の感情ことばが混用されていることを明らかにしています。電話会話の順序立てとしての「用件の切り出し」や、用件を切り出すための「話者交替」が見られません。つまり、この会話は、眠れない夜にただ話したいという恋心のなせる会話といえます。

談話・会話分析の手法や概念について説明しているコラムの内容も充実しています。談話・会話分析の入門書としても利用できるでしょう。



P.275

P.18 ~ 20 は以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

木山登茂子、大隅敦子、雄谷進、押尾和美、島田徳子(執筆順)

授業に役立つホームページ

第2回 難しいことばを調べながら読もう

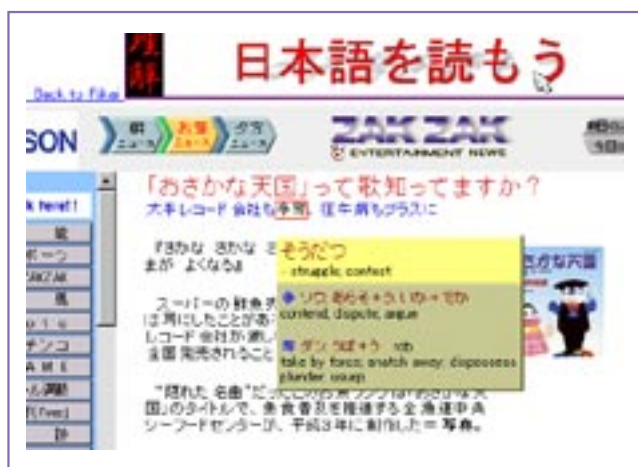
今回は、海外のコンピュータで日本語を使えるようになる方法を紹介しました。しかし、自分のコンピュータで日本語の文字を表示することができるようになって、まだ「日本語のページは難しく読めない」と思う人も多いかもしれません。

この理由の一つに、漢字の問題があるでしょう。日本人のために書かれた日本語のページには、たくさんの漢字が使われています。その中には知らない漢字もあって、その読み方を調べるのがとても大変だと思います。

このようなときに役に立つのが、「Rikai」(<http://www.rikai.com/>) というサイトです。このサイトは、インターネットの日本語のページにある漢字に、自動的に読み方と英語の訳をつけてくれるというものです。

それでは、読みたい日本語のページを「Rikai」を使って読んでみましょう。まず、ブラウザの新しいウィンドウを開いて上述のURLを入力し、Rikaiのページに行きます。右上のボックスで「Japanese to English」のバージョンを選びます。左側のボックスに、日本のニュースなど読みたいページのURLを、「コピー」と「貼り付け」を使って入れます。その後で「GO!」のボタンを押せば、そのページが「Rikai」をとおして表示されます。

(図1) 日本のニュースのページをRikaiで見たところ



ページのレイアウトは、もとのページと同じですが、このページの中の漢字にカーソルを合わせれば、単語

の読み方と英訳、それにそれぞれの漢字の意味が出てきます。漢字だけではなくカタカナの言葉も、カーソルを合わせればもとの英語がわかります。

また、ホームページのURLだけではなく、日本語の文を直接ボックスに貼り付けて、意味や読み方を調べることもできるので、例えば日本語の電子メールなどを読むときにも便利です。

(図2) メール本文をRikaiで見たところ



このようにして「Rikai」を使えば、日本語ページわからない漢字を調べる時間を少なくすることができますので、みなさんが自分で日本語のページを読むときに役に立ちます。また自分の学生や生徒に紹介すれば、学習者が自分の興味のあるページを「Rikai」を使いながら一人で読むことができるようになるでしょう。

一方で、この辞書は完全ではないので、調べられないことばがあったり、正しくない説明が出ることもあります。ですから教師のアドバイスも大切です。

授業では、例えば次のような使い方ができます。まず、授業のテーマに関係のある内容で、ちょうどいい日本語レベルのページを教師が選んで、学生にURLを教えます。学生は自宅や図書館のコンピュータで、Rikaiを使いながらそのページを読んで、教師が出した問題に答えます。そのほかに、年中行事などのテーマについて、学生がインターネットで調べて、クラスで発表する活動にも役に立ちます。

文法をやさしく

ぶん ぼう

第2回 受身 (2) NはNにVられる

だい かい うけ み

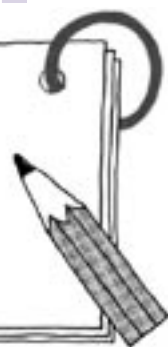
NはNにNをVられる

学習段階：初級後半

がくしゅうだん かい しよきゅうこう はん

キーワード：ヴォイス・受動態・非情の受身・視点

じゆどうたい ひじよう うけ み してん



今回も前回に続いて、受身についていっしょに考えましょう。第1回は、人(主に「わたし」)に視点を置いた受身を取り上げました。このような受身文ではできごとの影響を受けた人物の気持ちが表わられていました。

今回は、これとは少し違ったタイプの受身文を見てください。

「ミラクル・オン・アイス」のメンバーが聖火台に火をつけた。第19回冬季オリンピック競技ソルトレーク大会は8日夜(日本時間9日午前)開会式が行われた。(2002年2月9日朝日新聞朝刊「各種目で熱戦スタート」)



この文章はオリンピックが始まったことを伝える新聞記事の最初の部分です。動作を行った人がだれかははっきり言えない場合や、その人のことを具体的に言う必要がないときに、動作の対象が主語に選ば

れて、受身文が作られることがあります。「大会が行われた。」「シンポジウムが開かれた。」など、新聞やテレビのニュースなどの報道で、このタイプの受身文はよく使われています。次の1、2も事件や新しいできごとについての文です。

- 1 窓が割られ、指輪がぬすまれました。
- 2 今年から、ヨーロッパでユーロというお金が使われるようになりました。



また、報道の文のほかに、動作の対象に視点を置いて、説明するときにもこのような受身をよく使います。

では、次の例文を見てください。

- 3 お酒の好きな山田課長はワインを飲んでいきます。
- 4 ワインはお酒の好きな山田課長に飲まれています。

3 と 4 を比べてみましょう。山田課長と、課長が飲んでいるワインとを比べると、どちらが話題の中心になりやすいでしょうか。この文のあと、ワインの話を続けると、せっかく名前や好きなものまでわかっている課長についての情報が無駄になります。

次はどうでしょうか。

5 おおぜいの人はワインを飲んでいます。

6 ワインはおおぜいの人に飲まれています。

おおぜいの人とワインではどちらが話の中心になりやすいですか。この文のあと、「おおぜいの人」の話をしようと思っても、どんな人たちのかわかりません。ワインを飲んでいることのほかに、その人たちについてどんな話をすればいいのか考えにくいです。

7 『日本語教育通信』はいろいろな学校で読まれています。

8 ビールのびんは、リサイクルされてもう一度使われています。

7 と 8 の例も同じです。日本語には、動作をする人がどんな人たちが、何人いるか、どこにいるかなど、よくわからない場合に、その人たちを主語にせず、また文の中にも書かないで受身文にすることがよくあります。

9 紅茶はインドやスリランカの茶畑で作られます。

10 このワインは1996年に作られました。

9、10 の文は、主語の「紅茶」「このワイン」がどんなものかを説明する文です。どちらもだれが作るかは文の中に出てきません。

このように話の中心になるものが主語に立つ受身文では、主語の助詞に話題を示す「は」を使います。

ここで、わたしたちはどんなものを話の中心にすることが多いか、ちょっと考えてみましょう。有名な場所、建物、音楽、小説、もちろん有名人も…。

11 世界中の人は今でもビートルズを愛しています。(?)

11 の文にどうして(?)がつか、もうわかりますね。

話の中心になりやすいものを主語にしてみます。

12 ビートルズは、いまでも世界中の人から愛されています。

12 の受身文は「ビートルズ」も「世界中の人」も人間で、動詞も「愛する」ですが、前回勉強した受身文のように感情を表しているのでしょうか。話し手は、ビートルズの気持ちになって、世界中の人に愛されていることを喜んでいるわけではありません。やはり、12 も、有名な音楽グループ、ビートルズの説明文になっているのです。

13 ピラミッドはわたしに写真を撮られました。(?)

13 の例はどうでしょうか。エジプトのピラミッドは有名ですから、主語にしてみたのですが、どうも変な日本語ですね。みなさんがピラミッドについて知りたいと思うのはどんなことでしょうか。高さや古さ、どんな形か、なぜ作ったのか?しかし、「わたしが写真を撮ったこと」はピラミッドの説明になりません。こんな場合は受身文にしないように気をつけてください。14 のように言います。

14 わたしはピラミッドの写真を撮りました。

参考文献

庵功雄 (2001) 『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える』 p.98-107 スリーエーネットワーク

白川博之監修 (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 p.102-112 スリーエーネットワーク

文化外国語専門学校 (1994) 『文化中級日本語』 p.113-119 凡人社

前号の参考文献も見てください。

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

担当者: 荒川みどり (日本語国際センター客員講師) 木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)

NEWS ニュース

TEL : + 81-724-90-2603
 Fax : + 81-724-90-2803
 E-Mail : jlptinfo@jpf.go.jp
 ホームページ : <http://www.ijnet.or.jp/jpf/jlpt/contents/home.html>

日本国内の実施について：
 財団法人日本国際教育協会
 事業部日本語・統一試験課
 〒153-8503 東京都目黒区駒場
 4-5-29

TEL : + 81-3-5454-5215
 Fax : + 81-3-5454-5235
 ホームページ : <http://www.aiej.or.jp/index2.html>

2001年度日本語能力試験の結果について

昨年12月2日(日)に国際交流基金と(財)日本国際教育協会の共催で実施された、2001年度日本語能力試験の結果がまとまりました。試験は日本国外38の国・地域の89都市、日本国内6地域で実施され、日本国外で178,499人(前年度比約11%増)、日本国内で49,094人(同約20%増)が受験しました。

各級の受験者数、認定者数、平均点は、別表のとおりです。

級別	受験者数(人) A	認定者数(人) B	認定率(%) B/A	平均点 (400点満点)	
国 外	1級	40,845	17,003	41.6%	265.6
	2級	49,546	21,110	42.6%	227.4
	3級	53,089	26,173	49.3%	236.0
	4級	35,019	17,974	51.3%	240.5
	小計	178,499	82,260	46.1%	-
国 内	1級	32,410	14,218	43.9%	261.9
	2級	8,965	4,326	48.3%	236.8
	3級	5,311	3,852	72.5%	273.0
	4級	2,408	1,957	81.3%	289.5
	小計	49,094	24,353	49.6%	-
合 計	227,593	106,613	46.8%	-	

なお、2002年度の試験は12月1日(日)に実施されることになりました。詳細は、7月頃に下記までお問い合わせください。

日本国外の実施について：

国際交流基金関西国際センター試験課
 〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町
 りんくうポート北3-14

編集部から

今回から連載の始まった「海外日本語教育レポート」では、第1回として、中国の北京日本学術センターに新設された在職修士課程を紹介しました。日本語国際センターでも、昨年からは日本語教育の修士号を取得できるコースが始まったところです。当センターのコースについては、次号でご紹介する予定です。

この「通信」が発行される頃に、サッカーの世界カップが開幕します。「授業のヒント」のあいうえお作文にあるように、ここ、さいたま市にある「さいたまスタジアム2002」でも、日本-ベルギー戦など4試合が行われます。日本チームの世界カップ史上初勝利なるか、

ソウル日本文化センター・日本語センター開設

去る3月、日韓両国政府の合意により、国際交流基金の19番目の海外事務所としてソウル日本文化センター・日本語センター(所長・久保和朗)が正式にオープンしました。

ソウル日本文化センター・日本語センターは、図書館、多目的ホール、日本語セミナー室などの施設を備え、当基金の各種事業プログラムに加えて、日本語研修、文化情報サービス、セミナー、シンポジウム、展覧会などさまざまな企画事業を実施しています。

韓国は、世界の教育機関で学ぶ日本語学習者の半数近くを有する「日本語教育大国」ですが、昨年からは中学校でも日本語の授業が開始されるなど新しい動きが出てきており、教師研修をはじめとする韓国側の取り組みへの支援・協力はセンターにとって特に重要な事業となっています。

今年は「ワールドカップ日韓共同開催」の年。新センターは、日本文化の韓国へ

期待が高まっています。

さて、今回で「通信」の担当を替わることになりました。これまで読んでくださった読者の皆様、そして厳しいスケジュールの中で執筆してくださった皆様、どうもありがとうございました。未熟者でスケジュールどおりに刊行するだけでも精一杯でしたが、たくさんの方々のおかげで「通信」を発行することができました。今後も新しい担当者が「通信」をお届けしますので、どうぞよろしくお願ひします。(k)

編集部では、『日本語教育通信』に対するご意見や皆さんの学校の状況などを書いたお手紙をお待ちしています。

の紹介にとどまらず、韓国文化の日本への紹介や、多国間の共同事業を通じて、異なる文化を尊重し合い、さらには新しい文化が創出されることを願って活発な事業を展開していく予定です。

センターの詳細については、ホームページ(韓国語・日本語・英語 <http://www.jpf.or.kr>)をご覧ください。

海外のシラバス・ガイドライン翻訳

初中等教育における日本語教育事情

いま初中等教育における日本語教育が世界的に拡大しています。とりわけ、全国規模の初中等教育では、その効果的な実施のため、統一性や一貫性のあるシラバスやガイドラインの整備が重要です。すでに本格化している国々でも、さらに充実を図るため、常にシラバスやガイドラインの最新化が行われています。これから取り組もうとする国々にとっては、それらが重要な参考資料となるのです。また、海外の日本語教育事情を知るうえで有益な情報となっています。

日本語国際センターでは、これまで原本を図書館で紹介してきましたが、翻訳がなかったため、原語を解する方々のみの利用に限られていました。ホームページ上の「国別情報」でも具体的に紹介できなかったのです。その不便さを解消するために、また関係者の相互交流を図るために、このたび7カ国(韓国、中国、インドネシア、ニュージーランド、米国、英国、ドイツ)から9点のシラバス・ガイドラインを選び翻訳刊行することになりました。同時にホームページ上にも掲載する予定です。広くご利用いただけることと思います。なお、米国分は、翻訳権の都合で、同ページ上での公開のみとなります。

<http://www.jpf.go.jp/j/urawa>

『日本語教育通信』第43号

2002年5月発行

編集・発行 国際交流基金

日本語国際センター 情報交流課
 〒336-0002 埼玉県さいたま市北浦和5-6-36

The Japan Foundation
 Japanese-Language Institute, Urawa
 (6-36 Kita-Urawa 5 Chome, Saitama-shi,
 Saitama 336-0002, Japan)
 TEL. 048-834-1184 FAX. 048-830-1588

E-Mail jfnctt@jpf.go.jp

編集協力

財団法人 国際文化交流推進協会
 Japan Association for Cultural Exchange
 (ACE Japan)

(表紙イラスト: 村井宗二) 古紙100%再生紙使用